

次世代リーダー育成委員会

委員長 篠原 倫太郎

副委員長 稲葉 直樹

【事業方針】

近年、「VUCAの時代」(注1)と言われるように、地域・社会を取り巻く社会の変化は激しく、また不確実そして複雑化した社会となる中、地域では、抱えている課題も複合的な要因が絡み合い、その解決が難しくなっています。

また、人材育成に対する脅威として、グローバル人材や技術者の不足がエレクトロニクス分野でのシェア低下や研究開発力の低下、そして国際競争力の低下を招いています。内需の冷え込みや財源の問題によって、人材への投資に資源が回らない状況が続きますが、この状況を打破すべき責任世代の主権者は現状維持への意識が強く、人材への投資に関する責任を放棄しています。

そうした中SDGsというグローバルゴールは、世界的な視点を日本にもたらしました。その結果、人材においても持続可能な社会を築くための投資が求められるようになっており、また、地域においても同様で、若い世代から未来を創るリーダーの登場が求められています。

そこで設立以来、地域リーダーの育成のための事業を展開してきたJCI桶川に求められる行動として、地域に根ざし、伝統や文化、習慣を大切にしながらも、世界的に通用する技術や知識、時代に必要とされる能力や精神性を兼ね備えたリーダーを生み出す必要があると当委員会は考えます。

また、ダイバーシティ(多様性)を高め、人々のアイデンティティを確立することで私たちが率先して主権者意識を醸成し、地域にインパクトを与える事業を展開していきます。

〈注釈〉

(注1)VUCA: Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を並べた造語であり、将来の予測が難しい状況を意味している。

【事業計画】

- 1.地域・社会の課題を捉えてイノベーションを起こすためにリーダー発掘・育成事業の実施。
- 2.地域で積極果敢に活動・挑戦している傑出した人間力溢れる若者をより輝かせるため、若者が評価される事業の実施。
- 3.多様な地域で様々な人々と共生していくため、多様性を受け入れることができるグローバルな人材発掘・育成事業を実施。
- 4.地域の若者の能力を開発するため、次世代にむけたアカデミー事業を実施。